

随意契約理由書

件名	東クリーンセンター ボイラダストコンベアほか補修
契約業者名	川崎重工業株式会社
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項2号に該当
<p>随意契約の理由</p> <p>東クリーンセンターは、市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ)を焼却処理するプラントで、全炉停止期間を除き24時間連続稼働を行うとともに、ごみ焼却余熱を利用してボイラで蒸気を作り発電を行う施設である。</p> <p>ボイラは排ガスの冷却と蒸気の生成に重要な役割を持つため、ボイラ水管に付着する灰を定期的にスートブロー(煤払い)で払い落とすことで、熱交換効率の維持と排ガス流路を確保している。ボイラダストコンベアは、この払い落としした灰を安全に炉外へ排出する重要な役割を持つ設備である。現状、ボイラダストコンベアは羽根の摩耗が著しく、そのまま使用を継続すると灰の搬出能力が低下するとともに灰の量が多くなると搬出能力の超過となって過負荷による異常停止が多発するため、摩耗した羽根を交換する必要がある。</p> <p>焼却炉内のごみは、ストーカと呼ばれる火格子を階段状に並べた燃焼装置上で燃やし、火格子を前後に動かすことで、ごみを完全燃焼させる。ストーカ下ホッパーはごみ焼却によって発生する焼却灰(燃え殻)が火格子の隙間から落ちるため、これをもれなく落下灰コンベアへ導き、焼却灰を安全に炉外へ排出する重要な役割をもつ。現状、ストーカ下ホッパーは焼却灰とともに、ごみに含まれるアルミ等の溶けた金属類の付着が著しく、これらがホッパー内にあるストーカ駆動装置に付着すると動作不良を起こすため、焼却炉を休止する度に溶着金属を除去する必要がある。</p> <p>東クリーンセンターは、上記業者が独自に設計・建設したゴミ焼却プラントで、上記業者は東クリーンセンターのプラント設備を構成する機器の構造や機能等を熟知しており、他者では当該プラント機器の整備等に関わる技術的な情報は知り得ない。そのため、いずれの業務もストーカ下ホッパー及びボイラダストコンベアの性能・機能を維持し、安全かつ効率的に当該業務を履行できるのは上記業者のみである。</p> <p>よって、上記業者を契約の相手方として随意契約を行うものである。</p>	
担当部署 (問合せ先)	環境局東クリーンセンター(電話番号 078-452-4100)